



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第26週（令和7年6月23日～令和7年6月29日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

ヘルパンギーナの定点当たりの報告数が、従前の警報レベルの基準値（定点当たりの報告数6.00）を超えました。本疾患は、乳幼児を中心に、主に夏に流行します。感染後2～4日で突然発熱し、のどの痛みや、のどに発赤・水疱が現れます。発熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛等を起こします。のどの痛みで食事や水分を十分にとれない場合があるため、脱水症に注意しましょう。また、発症から2～4週間、便からウイルスが排せつされることがあるため、トイレやおむつ交換の後は、流水と石けんでしっかりと手洗いをしてください。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	22	365	241	6,329
腸管出血性大腸菌感染症	7	75	91	850
チクングニア熱	1	2	0	8
レジオネラ症	3	31	83	977
アメーバ赤痢	1	11	7	221
ウイルス性肝炎	1	4	3	111
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	2	82
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	42	15	763
後天性免疫不全症候群	1	19	10	387
侵襲性肺炎球菌感染症	2	90	45	2,226
梅毒	12	381	195	6,579
百日咳	97	1,729	3,211	35,810

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル（※）

：注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	183	1.50	1.32	3,841	1.00
インフルエンザ	35	0.29	0.74	1,048	0.27
急性呼吸器感染症	5,106	41.85	0.95	200,018	51.93
RSウイルス感染症	14	0.20	0.70	560	0.24
咽頭結膜熱	67	0.96	1.16	1,706	0.73
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	221	3.16	0.89	6,096	2.60
感染性胃腸炎	509	7.27	0.99	13,621	5.81
水痘	34	0.49	1.13	1,041	0.44
手足口病	41	0.59	1.17	773	0.33
伝染性紅斑（警報レベル）	209	2.99	0.92	5,943	2.53
突発性発しん	30	0.43	0.94	884	0.38
ヘルパンギーナ（警報レベル）	429	6.13	1.09	1,450	0.62
流行性耳下腺炎	5	0.07	1.00	213	0.09
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	20	0.03
流行性角結膜炎	12	0.46	1.09	603	0.87
細菌性髄膜炎	1	0.07	—	9	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	—	19	0.04
マイコプラズマ肺炎	6	0.40	1.20	240	0.50
クラミジア肺炎	0	0.00	—	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	1.00	25	0.05

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。